

平成 25 年 1 月 吉日

愛知県診療放射線技師会
日本放射線技術学会中部部会
放射線防護&アンギオ研究会合同技術セミナー

テーマ：「撮影条件を見直すための第一歩」

医用 X 線を取り巻く技術は日々進歩し、新しい装置を導入するごとに最適な撮影条件を再設定する必要があります。その決定の前提条件として、撮影条件によって得られる画像および患者さんに与える線量を評価できることが挙げられます。今回は標準的な線量評価方法を紹介し、日本における診断参考レベルと自施設の撮影線量を比較することを試みます。総合討論では、臨床現場における線量評価の問題点を抽出し、解決策を模索します。

日時：平成 25 年 2 月 24 日(日) 13:00-17:00

場所：名古屋第二赤十字病院 研修ホール

地下鉄 名城線「八事日赤」下車 ②番出口

会費：愛知県診療放射線技師会、日本放射線技術学会いずれかの会員は無料
(非会員は 1,000 円)

開会の挨拶(13:00-13:05)

春日井市民病院 木田浩介

教育講演 (13:05-14:05)

座長 名古屋第二赤十字病院 有賀英司

「診断参考レベルの動向」

演者 藤田保健衛生大学病院 小林謙一

技術講演 (14:15-16:00)

座長 浜松医科大学医学部附属病院 竹井泰孝

一般撮影領域「標準測定法を基準とした X 線アナライザの精度」

演者 名古屋第二赤十字病院 猪岡由行

乳房撮影領域「標準測定法とフォトンカウンティングマンモグラフィ装置の線量評価」

演者 金沢大学附属病院 能登公也

X 線 CT 領域「被ばく相談に必要な標準測定法と線量推定ソフトの紹介」

演者 藤田保健衛生大学病院 小林正尚

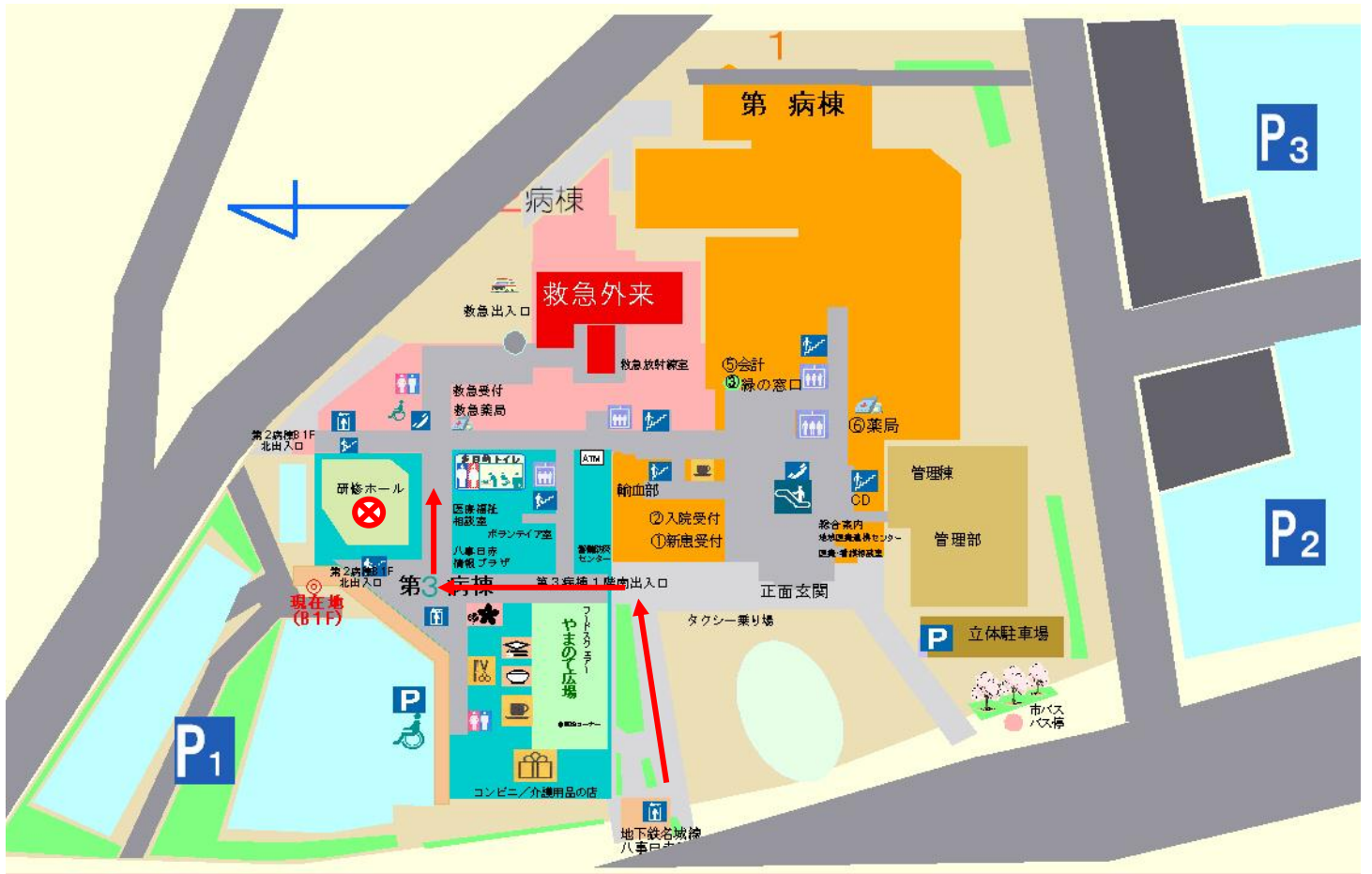
総合討論(16:10-16:50)

座長 有賀、竹井

閉会の挨拶(16:50-17:00)

藤田保健衛生大学 鈴木昇一

会場案内図



- 駐車場料金の割引等はありませんので、公共交通機関をご利用ください。